

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	喬木村教育委員会			代表者名	丸山貢弘
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	子ども教育係	連絡先電話番号	0265-33-2002
担当者役職	教育CIO補佐	担当者氏名	長坂亮介	連絡先E-mail	
住所	395-1107 長野県喬木村6664				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名(予定)	喬木中学校ICTを活用した自律的な家庭学習推進事業
概要	喬木中学校におけるICTを活用した家庭学習の充実に向けて、生徒向けワークショップと職員研修の開催		
支援を求める分野	教育情報化/情報教育		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年8月29日	支援・助言&講演(実地)	8時00分	10時30分	
			活動時間(分)	150	
2-2. 派遣場所	会場名	喬木中学校	最寄駅	元善光寺駅	
	所在地	長野県下伊那郡喬木村1562	最寄駅からの交通手段	車	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	藤村 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	1日目のワークショップを受けて、伝える内容を臨機応変に変えていただいたこと。
アドバイザーへの要望事項	

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	180人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
人数	18	2			160

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	喬木中学校ではICTを活用した個別最適な学び・協働的な学びを推進したり、生徒の主体性を育成することを目的として宿題を自主的に計画をたてて実施するように自律的な家庭学習にむけて改革を推進しているが、学校評価アンケート等で、一定数の保護者から「先生にしっかり教えてこんでほしい」「宿題をもっと出してほしい」など、(折に触れて家庭向けの通知等で伝えているが)めざしたい方向性がなかなか保護者に浸透しない課題がある。また、生徒の取り組みも、個人差が大きく改善が必要な面が大きい。あわせて、職員にとってもこれまでの「宿題」形式から自律的な家庭学習への移行に向けて、具体的な対応方法や、ICTを活用した方策、日常授業との関わりなど、体系的な取り組みに至っていない点も課題である。
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	ワークショップ①を受け、学ぶ楽しさをもとに、具体的な自主学習の方法や授業の在り方について、子供自身が考え、今後の取り組みのイメージや目標をたてられる

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	生徒向けワークショップ② ワorkshop①を行い橋木中の課題と感じたこと⇒主体的に動けていない／それは日々の授業や家庭学習での取り組みで改善できること／これからの社会をいきていくためにどのような授業が必要か／一律に前を向けているのではなく向かい合って、子供中心で授業が進む先進地域の事例／先生のいうことを素直に聴くだけではだめ／自分で考え行動することの大切さ／問題発見のワーク (天気図からはてなを見つける) / 自主学習の計画を立てる実習	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	自主学習の計画を立てる実習を行い、生徒に自主学習の種類 (授業の延長 / 自分の興味関心) を示していただき、生徒の自主学習へのイメージが豊かになった。また、授業において自主的・自律的に学ぶことについて、職員研修でも示した授業の種類やGIGAスクール構想でのダメの授業の一覧を、生徒にもそのまま見せて頂いた。これまで職員向けにしか共有されなかった内容を生徒にも開示することで、生徒主体で自主的に学ぶための土台をつくることを学んだ。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	<input type="checkbox"/> ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	自主学習の計画の実習において、生徒が立てた計画は具体性に欠けるものが多く、またほとんどが授業の延長としての自主学習の内容だった。自律手に学ぶ上では、計画をたてる訓練もしいといけなし、もっと個性化された学習を推進していく必要がある。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 生徒アンケートより、「自主的・自律的な学習について、なぜ必要なのか」について、「自分から学習に取り組むために問題発見することで、より楽しいと思える授業になり、自分たちも楽しく覚えて、考えることができる」「言われただけだと何も考えずに行うけど、自主的に行動することで頭を使うから自主的・自律的は大切だと学びました。」など、本事業において子供に学んでほしかった内容を理解し、記述できる生徒が多数いた。内容的に理解がまだ浅い生徒ももちろんいるので、フォローしていく必要がある	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	<input type="checkbox"/> ④予算以外で、今後取り組む事項がある 学校内部においては、事業を通して学んだことを職員・生徒ともに推進していくため計画を策定し、管理署のリーダーシップのもと推進していく。今回2日間通して5名の保護者にも参加してもらえた (任意で見学可能な通知をだした)。学校としてみれば、保護者の参加はないだろうと思っていたので、少しでも興味関心をもってきている保護者がいたことは心強い結果だった。今回のワークショップの内容を保護者にも周知して行くとともに、自主学習の推進には家庭の協力が不可欠だとアドバイザーからの指摘もあったので、まずは授業を改善していくことと並行して、保護者に自主学習の必要性を改めて伝え、粘り強く取り組んでいく。(秋田では数十年の歴史の上で現在自走していることから)
4-4. 事業の最終的な目指す姿	生徒：一人一人が学ぶ楽しさを実感し、目的をもってICTを活用した自律的な家庭学習を行えるようになる。これからの時代に求められる「自律的に学び続ける」力を養うことで、社会で幸せに生きていくことができる。 保護者：学校から与えられた宿題をこなすだけでなく、自ら学ぼうとする自身の子供の姿をみることで、わが子がこれからの時代に求められる能力を育てているという実感できる。 学校：生徒の自律的な学習につながる日常の授業改善、自律的な家庭学習を支える保護者に対して適切なサポートや情報提供ができる。	
5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		
<input type="checkbox"/> 掲載許可	<input type="checkbox"/> 掲載可	
<p style="text-align: center; color: red;">なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください</p>		

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

